

第3回 JISAプログラミングワークショップ開催！！

平成28年6月17日(金)、横浜市立森の台小学校にて、「JISAプログラミングワークショップ」を開催した。参加者はパソコンクラブに所属する生徒（小学校4年生から6年生）32名。このイベントは、「ソフトウェアの重要性を知ってもらおう」コミュニティが主催しているもので、小中学生を対象にプログラミングの楽しさを知ってもらい、ソフトウェアを身近に感じてもらうために企画したものである。

[2015年度「スーパークリエイタ」](#)に認定された寺本大輝氏(ハックフォープレイ(株) 代表取締役)を招き同社が開発したツール「[HackforPlay](#)」を利用したワークショップが行われた。

初めに寺本氏より「こんにちは！今日はプログラミングを皆で楽しみましょう。」と挨拶があり、ワークショップが始まった。

[HackforPlay](#)は勇者としてダンジョンに入り、ゲーム内で手に入る‘魔道書’に書かれている実際のプログラムコードを自身の手で書き換えることで困難を解決しステージクリアを目指すゲームである。

生徒達は2人1組で協力しながらゲームを進める中で書き換えたコードがどのような影響を与えるか体験し、ステージクリアするために、講師に質問・相談しながら、クラブ活動の時間ギリギリまで夢中に取り組んでいた。



終了後、「プログラミングでゲームが作れておもしろい」「プログラミングでゲームを作って、みんなを楽しませたい」「ハックフォープレイを作った人はすごい」といった感想が多く寄せられた。

今回のワークショップは公立小学校で初めて実施されたが、「プログラミングを楽しんでもらおう」、「プログラミングを身近に感じてもらう」を達成出来たと感じている。

今後も小中学校向けにプログラミングワークショップを開催することを検討し、ソフトウェアをより身近に感じてもらえるよう活動をしていく。

(溝尾)